

令和5年全国学力・学習状況調査(2023.4.18)の結果からみた

## 国語・数学・英語の力と学習や生活の状況

◎は良いところ ▲は伸ばしたいところ

### 【国語について】

◎学習指導要領の内容の「情報の扱い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」「話すこと・聞くこと」「書くこと」で、県平均を上回っており、全内容で全国平均を上回っています。

◎目的や場面に応じて質問の内容を検討したり、答えの内容を捉えてより効果的に質問をしたりする問題で高い正答率を示しています。また、問題2二のように、二つの文章を比較して共通する内容を選択したり、問題4二のような古典の原文と現代語の文章を対応させて内容をとらえたりすることがよくできています。このことから、本校生徒は、目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得る力がついていることがわかります。

▲記述式の問題において、条件に沿って自分の意見を書くことに課題があります。話の内容を捉えることはできていても、それについて自分の考えをまとめる力に課題があります。授業の中で、様々な考えに触れ、それに対して常に自分の考えを表現していけるような学習の機会を増やします。

▲文章の要旨を読み取る問題に対して課題が見られます。誤答を見ると、内容を曖昧に読み取っている傾向があるため、情報を整理して正確に要旨を捉えることができる力がつくような学習を行います。

▲文脈に沿って漢字を正しく書く問題に課題が見られます。言葉の意味を理解するだけでなく、使える言葉として学べるよう、授業等において積極的に活用できる場面を設定していきます。

### 【数学について】

◎「数と式」、「関数」、「データの活用」の3つの領域では、全国平均を上回っています。特に、「データの活用」は全国平均を大きく上回っています。

◎文字式の利用の問題で高い正答率を示しています。文字を使って成り立つ事柄を見だし、説明する力がついています。

◎「データの活用」の累積度数や四分位範囲を求める問題で高い正答率を示しており、それぞれの言葉の意味を理解していることが分かります。

◎グラフや式を用いて、説明する問題で高い正答率を示しており、事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する力がついています。

▲「図形」の領域に課題があります。特に、問9(1)の証明の問題では、無回答の割合が高くなっています。筋道を立てて考え、説明する力をつけられるように、図形の問題では他者に対して説明をする対話的な活動を増やしていきます。

▲反比例の意味が理解できているかを確かめる問題に課題があります。誤答では、比例の特徴が書かれた選択肢を選んでいる生徒の割合が比較的高いので、比例と反比例の特徴を自ら考え、理解できるような授業を行います。

## 【英語について】

◎「書くこと」「話すこと」の2つの領域では、全国平均を上回っています。特に、「話すこと（発表）」では、全国平均を大きく上回っています。

◎テーマに沿って自分の意見・理由を書いたり話したりする問題では、全国平均と県平均を大きく上回っています。ある程度正確な英語で、求められている条件を満たすまとまりのある英文を発信する力がついています。

▲問3や問6のような、ある一定の長さの英文を聞いたり読んだりし、自分の置かれた状況を踏まえて必要な情報を聞き取ったり読み取ったりすることに課題があります。今後も、目的・場面・状況を設定した上で、文章を聞いたり読んだりする活動を継続していきます。

▲「話すこと」調査の問1(3)のような、やり取りの中で質問する場面で適切な表現を使用する力に課題があります。授業中のやりとりや発表の場面で、生徒が英語で質問する機会を増やしたり、その表現がどのような場面で使用されているものなのかをイメージさせたりするような活動を継続していきます。

## 【学習や生活について】

- ◎起床時間や就寝時間がほぼ一定である生徒や、朝食をとれている生徒の割合が高いことから、規則正しく生活できている生徒が多いことがわかります。今後も一人一人の状態をよく観察し、健康な生活が送れるよう配慮します。
- ◎「人が困っていたら助けたい」「人の役に立つ人間になりたい」と考える生徒の割合がとても高いです。また、「学校は楽しいですか」「日常生活の中で幸せになることがあるか」「友達関係に満足しているか」という質問に対しても、ほとんどの生徒が肯定的に考えており、本校生徒の互いに協力し思いやる集団の姿が見受けられます。
- ◎「授業でPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用したか」という質問に対して「ほぼ毎日」「週3回以上」と回答した生徒の割合が、全国平均を大きく上回っています。本校においては、どの授業でも積極的にタブレットを活用しています。また、特別活動で意見を共有したり、学校生活において連絡や記録で活用したりするなど、ICT機器を自分の用途にあわせて効果的に使うことができています。
- ◎「将来の夢や希望がある」と回答している生徒が多いので、中学校卒業後にもっと自分の世界を広げることができるよう、進路学習の中で上級学校選択だけではなく、より自分の未来に対して希望を持つことができるような支援を行います。
- ▲「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」という質問に対して「あまりしていない」と答えた生徒が多く、学習時間も平日・休日含めて比較的少ないことが課題です。与えられた課題だけを学習するのではなく、自分に必要な力を分析し、計画的にそれを伸ばす学習を行うことができるようにするために、集団で学習方法についてアイデアを出し合ったり、個々に合わせたアドバイスをしたりして、自主・自律的な学習活動ができるように支援していきます。
- ▲「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の授業につなげることができていますか」という質問に対して「当てはまる」と答えた生徒の割合が低い傾向にあります。授業の中で自分の学習を振り返ることが十分でないと考えられるので、積極的に振り返りの機会を設け、自分についての学力を把握するとともに、様々な場面で活用できる工夫を行っていきます。